

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公開番号】特開2011-152710(P2011-152710A)

【公開日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2011-032

【出願番号】特願2010-15697(P2010-15697)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月18日(2012.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項において、

前記第 1 ドット画像データのうち前記特定画素に相当する第 1 画素と、当該第 1 画素の記録を担う第 1 ノズルと同じ流路に属する他の第 2 ノズルで前記第 1 画素と同じタイミングにて吐出される第 2 画素のデータを基に前記第 1 画素の前記クロストーク評価値を計算する一方、

前記第 1 画素及び前記第 2 画素に対応した前記第 1 ノズル及び前記第 2 ノズルとは異なる流路に接続される第 3 ノズルによって記録される第 3 画素と、当該第 3 画素の記録を担う前記第 3 ノズルと同じ流路に属する他の第 4 ノズルによって記録される第 4 画素のデータを基に前記第 3 画素の前記クロストーク評価値を計算し、

前記第 1 画素のクロストーク評価値と前記第 3 画素のクロストーク評価値を基に、これら両画素のクロストーク評価値を平均化するように、前記第 1 画素と前記第 3 画素との間でデータを入れ替える処理を行うことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

(発明 1 0) : 発明 1 0 に係る画像形成装置は、発明 1 乃至 9 のいずれか 1 項において、前記第 1 ドット画像データのうち前記特定画素に相当する第 1 画素と、当該第 1 画素の記録を担う第 1 ノズルと同じ流路に属する他の第 2 ノズルで前記第 1 画素と同じタイミングにて吐出される第 2 画素のデータを基に前記第 1 画素の前記クロストーク評価値を計算する一方、前記第 1 画素及び前記第 2 画素に対応した前記第 1 ノズル及び前記第 2 ノズルとは異なる流路に接続される第 3 ノズルによって記録される第 3 画素と、当該第 3 画素の記録を担う前記第 3 ノズルと同じ流路に属する他の第 4 ノズルによって記録される第 4 画素のデータを基に前記第 3 画素の前記クロストーク評価値を計算し、前記第 1 画素のクロ

ストーク評価値と前記第 3 画素のクロストーク評価値を基に、これら両画素のクロストーク評価値を平均化するように、前記第 1 画素と前記第 3 画素との間でデータを入れ替える処理を行うことを特徴とする。